

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		KID ACADEMY PURE つるせ校			公表日	2025年2月20日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	十分なスペースがあります。活動内容や利用人数によって配置を変えたり工夫しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	常に必要な人数が配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	・静と動のスペースを分け、児童に分かりやすい環境や動線に配慮しています。 ・床面は段差がないようバリアフリー化されています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・活動ごとにスペースを分け安全かつ過ごしやすい環境を設定しています。 ・毎日清掃や消毒を行い室内の清潔を保つよう心掛けています。また、学習スペースを区切ることで集中して課題に取り組めるよう工夫しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	・個室で学習に取り組んだり、療育室の一面に個別で落ち着いて過ごせるスペースを設置したり、必要に応じて環境を設定しています。 ・一人で落ち着いて過ごしたい、クールダウンしたい時等必要に応じて集団から離れられる場所があります。 ・児童の様子や状況に応じて個室を使用したり、パーテーションを活用して空間分けを行っています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	児発管を中心に全体MTGで職員全員で児童一人一人の振り返りや目標設定を行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	毎年評価をいただき、意向や意見を把握し職員全員で内容を共有し業務改善に繋げています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・日々の打ち合わせや職員会議で出た意見を元に業務改善に繋げています。 ・管理者との面談を行い、その中で出た意見等を共有して業務改善に繋げています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6		現在行っていない為本部と連携を取り今後の対応を検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	・様々な内容の研修が法人内で開催されており、スキルアップができる環境です。 ・社内研修が豊富にあり、知識を身に付ける機会があります。 ・社内研修や勉強会が設定され、資質の向上に努めています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	5領域を元に個々の課題を考慮して、成長を促すための支援プログラムを作成しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	半年に一度アセスメントを行い、計画を作成しています。	

適切な支援の提供	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	アセスメントをもとに全体MTGで話し合い、共通理解をもって検討をしています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	職員全体で検討した計画の内容を共有し、目標や目的を認識したうえで支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	活動案を話し合って決め、活動プログラム計画を決定しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の興味や発達に合わせた活動を月毎に考えて取り入れています。 ・繰り返し行うことで身に付く内容については、振り返りや反省を踏まえて内容を見直したり、個々に応じて設定を変えたり固定化しないよう工夫しています。 	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個別活動と集団活動を組み合わせて計画を作成し、計画に基づいて支援を実践しています。 ・集団活動を主で行いながら、必要に応じて個別の活動も行なっています。 	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	支援開始前の打ち合わせを必ず行い、共有事項や役割分担の確認及びその日の支援プログラムのねらいや注意事項を伝え、連携して支援を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日振り返りを行い反省点などを次に繋げている。また職員間での情報共有を行なっている。 ・支援終了後の打ち合わせを必ず行い、振り返りや連絡事項を確認し、より良い支援に繋がられるよう話し合いを行っています。 	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の支援の内容の他、児童の少しの変化等も共有して記録に残し、支援に生かす努力をしています。 ・職員で共有できるツール(管理システム)を使用して、業務日報や支援記録等を記録しています。 	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	定期的にモニタリングを実施し、計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	6	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・自己選択できる環境設定を心掛け、療育活動では自己決定する力を育むことができる内容を取り入れ支援を行っています。 ・それぞれが好きな遊びが選択できる時間を設定しています。 	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	児発管が参加しています。		
27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1			

関係機関や保護者との連携	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	6	0	体調や日々の様子を把握するため、引渡し時の申し送りを丁寧に行い情報共有を行っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	1	児童館や近隣の公園を利用し、交流する機会を設けています。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・半年に一回の面談の他、送迎時には児童の様子や成長の姿を伝え合い、共通理解を持って連携して支援を行っています。 ・送迎時に保護者と情報共有しており、提供記録にも記録しています。状況や課題について共通理解を持っています。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	保護者向けの研修会や勉強会を開催しています。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1	契約時に説明を行っています。支援プログラムについては保護者会でも伝えてあります。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	家庭から相談を受けた際には職員間で協議し、面談を設定したり話しをする時間を作り助言等の支援を行っています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	保護者会や保護者参加の行事を企画し、保護者同士での交流が持てる機会を設けています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	苦情があった際には迅速に対応できるよう努めている。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	毎月のお便りで活動やイベント等の周知を行なっています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	児童の気持ちに寄り添い、必要に応じて絵カード等の視覚支援を用いて伝えています。	

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3		今後感染症の状況等を考慮しながら検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	定期的に訓練を実施しています。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・ヒヤリハット事案が起きた際には報告書を作成し、職員全員で共有し再発防止に努めています。 ・ヒヤリハット事案を共有し、事故に繋がらないよう検証及び改善策を講じる等迅速に対応するよう努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	定期的に研修や委員会を実施しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0			